昭和16年4月9日

一、三月三十日ヨリ四月七日迄 班長及原大尉北九州上陸作戦演習視察ノ總長ニ隨行不在ス

此間種村少佐鋭意海軍小野田中佐ト折衝シ遂ニ對南方施策要綱海軍案ヲデッチ上ゲタリ

海軍案四月五日陸軍ニ呈示シ來ル

二、海軍案ノ骨子左ノ如シ

イ、事ヲ外交ニ依ル　好機ニ投スル武力行使ナシ　自存自衛ノ為始メテ起ツ

ロ、英國勢力ノ駆逐ナシ

ハ、右海軍案ヲ印刷、第二課、第八課、軍事、軍務課ニ送附意見ヲ求ム

大体ニ於テ大ナル意見ナシ

0355

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和　年　月　日

第二課長　土井大佐
好機ニ投スル對英武力行使執着アリ
第八課長　彦坂大佐
概ネ同右
軍事課長　眞田大佐
好機ニ投スル武力行使ハ英米ヲ分ノ情勢ニ於テ可能本案ハ
不可分ノ判断ニ立ツヲ以テ已ムヲ得サルヘシ　寧ロ陸軍トシ
テハ主張セサルヲ政策的ニ有利ナリ
軍務課長　佐藤大佐
同右意見

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和16年10月4日

一、松岡外相ヨリ飛電アリ
曰ク中立條約ニ調印スルヤモ知レサルニ付手配アリ度シ
次テ中立條約ノ條件ニ關シ電アリ
松岡ハ利權問題ニフレズニ中立聲明ヲナサントス
「モロトフ」ハ利權讓渡ヲ主張ス
恐ラク意見一致セサルベシ

二、午後四時半ヨリ久シ振リニ連絡懇談會開カル
「ユーゴー」ヲ中心トスル情勢ノ況ヲ總長説明ス
次テ中立條約ノ件議題トナリ左記要旨ヲ松岡宛電報スルニ決ス
イ利權問題ニハフレズ(即議定書ヲ除ク)
ロ三國同盟ヲ弱メル結果ヲ招來セサルコト

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和　年　月　日

獨ト充分諒解ヲ遂クルコト

3. 支那事變解決ニ資スヘキ措置ヲ取リ得ルコト

0358

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和16年4月11日

一、中立條約ノ條件ニ關スル件前日連絡會議ニ於テ既決セルヲ知ラス八時ヨリ第六課長室ニテ審議シ概ネ右案同樣ノ結論ヲ得

第五課ノ活動足ラス總長連絡會議出席前ニ參謀本部ノ腹ヲ決定スルニ至ラス

二、對南方施策要綱海軍案ニ對スル第一部ノ正式意見來ル

大体同意ナリ

大勢茲ニ決ス

好機ニ投ズ武力行使遂ニナシ

邦家ノ為慶賀スヘキヤ否ヤ？

三、目黒茶寮ニ於テ陸海作戰、戰爭指導關係ノ懇親會アリ

三名出席ス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和16年4月12日

一、第二部 中立條約締結ノ必要性ニ就キ上司ニ具申スル所アリ
二、正午松岡ヨリ飛電 中立條約締結ヲ断念セリト
三、外相ノ訪歐結局何ヲ得タルヤ
豫想シアリシトハ言ヘ淋シ
國家ノ前途多難且遼遠ナリ
四、獨軍ノ對「ユ」作戰大イニ進捗ス
五、班長對南方施策要綱陸軍案(海軍案ニ一部修正)ニ
就キ第一部長、第二課長ト語ラ進ム
大ナル意見ナシ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和16年4月13日

一、正午松岡外相ヨリ飛電アリ
日ソ中立條約ニ調印スベシト
利權ノ件ハ數ヶ月後ニ清算ニ就キ協議ヲ進ムベキ條件附ニテ中立不可變（滿洲國ヲ含ム）條約締結ニ應諾セルモノノ如シ
主トシテ「スターリン」ノ決意ニ依ルモノノ如シ
二、情勢急轉再轉シテ茲ニ中立條約成ル邦家ノ爲慶賀ノ至リニ堪ヘス
三、對南方施策要綱案第二部異論アリ好機ニ投スル武力行使ノ伏線ヲ存置スベシト第六課長ノ主張ヲ入ランカ
第二部長之ニ同調シアリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和 16 年 4 月 14 日

一、朝刊ニ中立條約締結ヲ發表ス
昨夜十時發表セルモノノ如シ　新聞宣傳稍〻精彩ヲ缺ク　直ニ
報道部ヲ經テ之カ指導ヲナス
二、本條約ノ意義ハ南方武力解決ノ支撐ニモアラス　對米戰回避ノ
手段ニモ宣ラス
偏ニ自主的對ソ開戰迄ノ時間ノ餘裕ヲ得ルニ在リ　本意
義ヲ戰爭指導中樞部ハ的確ニ把握シアルヲ要ス
三、外相ノ得意知ルヘシ　「スターリン」驛頭ニ松岡ヲ歡送セリト
言フ　前例ナシ
「スターリン」ノ心中那邊ニ在リヤ　不明
四、對南方施策要綱案第三部長ノ異論ニ對シ次長第三
部長ト話ス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和　年　月　日

第二部長概ネ諒承セルモノノ如シ

五、夕刊ニ中立條約ノ活用ニ関シ大々的ニ宣傳ヲ開始セリ

六、中立條約ノ意義ニ関シ第二部兼議論盛ナリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和16年4月19日

一、對南方施策要綱案ニ關シ第二部内課長會議ヲ開催セルモノノ如シ

好機ニ投スル武力行使ヲ行フヘキコトノ伏線ヲ所要事項ノ説明ニテモ入ルヘシト判決ス

二、右ニ關シ班長情勢ノ大轉換(英米可分)ノ場合只固ヨリ然ルヘシトテ同意(原大尉同上)

種々少佐絶對不同意ニテ論議アリ

三、對南方施策要綱案ニ關シ部長會議ヲ開ク

總長第一、二部長共ニ好機武力行使ニ未練アルカ如シ

班長之ヲ排ス

第二部長南方武力行使ノ場合ヲボヤカスベシト主張次長ソレデハ本要綱ノ魂ヲ失フトテ之ヲ排ス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

四、班長右會議ノ結果ニ基キ修文セルモノヲ以テ海軍ト折衝ス

海軍大体同意

但武力行使ノ場合ノ目的ニ就キ意見アリ　即チ陸軍案ハ武力行使ノ場合ハ目的強化セラルヘキヲ主張セルニカ野田中佐ハ然ラス同様ナリト云フニ在リ

近日中右案ニ對スル海軍意見ヲ出スヘシト言フ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和16年4月16日

一、泰武官歸朝、大臣總長ニ説明ス

從來ノ電報ト其内容百八十度異ナリ泰ニ於ケル日本勢力尚微々前途遼遠ナリト

泰人ハ獨英決戰見透ナレ英ノ敗戰ヲ未タ信レアラズ紛爭調停等ニモ未タ不安アリ等々

故ニ日泰協定ノ提手成ルベク遲キヲ可トス、提手セバ「ハイ」ト云フカモ知レサルモ實行伴ハサルヘシ

先々泰内日本實勢力ノ扶植カ先決ナリト

省部主任者呆気ニ取ラル

二、師團長會議終リタルニモ拘ラズ板垣總參謀長未タ當部ニ出入シアリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和　年　月　日

次長、總長、總理大臣ノ往來密話盛ナリ
及川中將恰モ羽田着着任ス
果シテ内容如何　対支和平謀略カ　成功セサルハ見エスイテ居ル
須ク中止スヘシ（種々ナル佐意見）

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和 16年 9月 17日

一、連絡懇談會開催
總長南進論巷間傳フル所害アリテ益ナキヲ述ヘ與論指導ニ關シ要望ス
又外務省ノ華僑工作推進方ヲ要望ス
對佛印・蘭印經濟交渉進捗セス、泰、佛印條約モ頓坐シアルヲ大橋次官開陳ス
二、「ナヤーナル」ノ松岡ニ對スルメッセージ」右席上開示アリ
内容極メテ不遜憤慨ニ堪ヘス
先大國ノ末路哀レムヘキ哉 正気ノ沙汰ニアラス
三、對南方施策要綱、陸海軍間九分通リ意見一致ス
後ハ作文ノミ 其出度〳〵?

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp